

当院は、身体的拘束最小化 に取り組んでいます

当院の方針

当院は、入院患者さんの尊厳を守り、安全・安心なケアを提供するため、身体的拘束を原則として行わない方針で取り組んでいます。

身体的拘束とは

患者さんの行動を制限するために、ベッドへの固定、ミトン型手袋の使用、つなぎ服の使用など、身体を物理的・機械的に制限する行為をいいます。

身体的拘束が及ぼすリスク

身体的な影響 筋力低下・褥瘡
関節拘縮・誤嚥

精神的な影響 不安・混乱の増悪
せん妄リスク上昇

尊厳への影響 自尊心の喪失
治療意欲の低下

転帰への影響 回復遅延・転倒
事故リスク増加

当院の主な取り組み

- 1 専門チーム（身体的拘束最小化チーム）による定期的な病棟巡回
- 2 低床ベッド・床マット・センサー等の代替用具の積極的導入
- 3 入院患者さんへの丁寧な説明と意向の確認
- 4 職員への年2回以上の研修の実施
- 5 3か月に1回以上の委員会開催による取組の検討・改善
- 6 身体的拘束の実施状況の継続的なモニタリングと公表

身体的拘束 実施率の目標：3.0%未満

※実施率の詳細は、院内掲示板および当院ウェブサイトでご確認いただけます。
ご不明な点は、担当スタッフへお気軽にお声がけください。